

教科(科目)	芸術(美術 I)	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	光村図書出版株式会社「美術 1」				
副教材等					

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。</p> <p>○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協調的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。</p> <p>○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。</p> <p>○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。</p> <p>○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協調的に学びあえる授業を行う。</p> <p>○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。</p> <p>○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。</p>

2 学習目標

<p>美術の幅広い創造活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現方法を創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>美術 I として、</p> <p>① 感じたことや考えたことなどを基にした発想や構想想像などから作品制作をします。</p> <p>② 表現形式の特性を生かしながら、形体、色彩、構成などを工夫し作品制作をします。</p> <p>③ 目的、機能、美しさなどを考え確立させることを目指します。</p> <p>④ 美術作品などのよさや作者の心情や意図を感じ取り、理解を深めることを目指します。</p>

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。</p> <p>・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。</p>	<p>・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想や構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。</p>

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み ・アイデア用紙 ・作品提出 ・面接 ・作品説明カード <p>などから評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み ・アイデア用紙 ・作品提出 ・面接 ・作品説明カード <p>などから評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み ・鑑賞カード ・面接 <p>などから評価します。</p>
内容のまとめりごとに、各観点「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	絵画・彫刻	色の特徴を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 色相環を描きながら色相、明度、彩度を理解する。 混色でさまざまな色を作る。 	8	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 課題レポート 作品提出 プレゼンテーション 鑑賞カード
5	デザイン	メッセージを広く伝える	<ul style="list-style-type: none"> オリジナルの文字をデザインしい自分の生まれ月のカレンダーを制作する。 	8	
6	デザイン	マークやサインで伝える	<ul style="list-style-type: none"> 単純な形や色を用いて誕生月を視覚的にわかりやすく表現する。 	8	
7	鑑賞	美術作品を鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めまとめる。 	2	
8	絵画・彫刻	彫刻(塑造)の技法	<ul style="list-style-type: none"> 粘土で身近な人や動物から感じ取った生命感を表現する。 	4	
	絵画・彫刻	生命感あらわす	<ul style="list-style-type: none"> 木や石などの材料を使って生き生きとした形を掘り出す。 	6	
9	鑑賞	美術作品を鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めまとめる。 	2	
10	絵画・彫刻	枱や点で描く	<ul style="list-style-type: none"> 枱や点で構成された作品をそれぞれのよさを再現する。 自分の席から観た美術教室の片隅を描く。 	16	
12	デザイン	空間をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ異なる複数の絵柄を連続なるように描く。 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めまとめる。 	6	
1	映像メディア表現	アニメーションをつくる		8	
3	鑑賞	美術作品を鑑賞		2	

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

- ・テーマごとに、アイデア用紙からはじめ、完成作品と作品説明カードを描きます
- ・作品についてのプレゼンテーションをします。
- ・完成した作品は展示発表します。

8 担当者からの一言

中学校で養った絵画(平面)、立体、デザインの基本的表現力と鑑賞能力を総合的にさらに高め、美術への感心と個人の感性を一層深めていきます。

(担当: 谷澤 登喜子、鈴木 晃)

